

特講 (地域と生活)			科目コード	AT1029
単位数	履修方法	配当年次	担当教員	
1	S(講義)	1年以上	村田 周祐	

※この科目は10/30・31の仙台会場のスクーリング受講が必須です。受講希望者はスクーリング申込締切日までに履修登録とスクーリングの申込みが必要です。

■スクーリングで学んでほしいこと

この授業では、地域と生活を切り口に、日本民俗学や村落社会学の社会観の獲得を目指します。人口減少社会やグローバル市場の最前線にある現代農山漁村を題材に、それでも地域生活を再編していく人々の英知に接近します。本講義では、英雄ではなく、「普通」の人々(私たち)の日常に埋め込まれた「創造性」に接近し学ぶことで、これまでとは異なる「世界の見え方」を獲得していくことを目的とします。

■到達目標

これまでとは異なる、もう一つの視点から社会・世界を見ることができるようになる。

■スクーリング講義内容

回数	テーマ	内容
1	あたりまえを疑う	社会科学の「発見」とは
2	なぜいま地域なのか①	福祉国家と地域
3	なぜいま地域なのか②	福祉社会と地域
4	暮らしのなかの生活保障①	暮らしを守るしくみ
5	暮らしのなかの生活保障②	住民組織と生活保障
6	人と自然の関係①	アクティブラーニング
7	人と自然の関係②	アクティブラーニング
8	人と自然の関係③	アクティブラーニング
9	スクーリング試験	

■講義の進め方

本講義は知識ではなく、もうひとつの社会観・世界観の獲得を目指します。そのため、具体的な事例の紹介やアクティブラーニングなど、体感・追体験する学習が中心となります。

■スクーリング 評価基準

スクーリング試験100% (持込すべて可)

■スクーリング時の教科書

教科書は使いません。必要に応じて資料を配付します。

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10時間）

「あたりまえ」ってなんだろうと、少し立ち止まって考えてみてください。

■スクーリング事後学習（学習時間の目安：20～25時間）

講義を通して、考えたことや気になったことを調べてみてください。

■「卒業までに身につけてほしい力」との関連

とくに「他者への関心と理解」「社会への関心と理解」「自他尊重的コミュニケーション能力」「他者配慮表現力」「クリティカルシンキング力」を身につけてほしい。

ふだんの生活やさまざまな活動を通して抱いた疑問をもつ力を身につけてほしいです。何の変哲もない「ふだんの生活」に疑問を持つことは、実に難しいです。なぜなら、「ふだんの生活」に疑問を持つためには、まず自分にとっての「あたりまえ」に気づくことが必要だからです。その力を養う助けになればと思います。

■参考図書

村田周祐著『空間紛争としての持続的スポーツツーリズム：持続的開発が語らない地域の生活誌』
新曜社、2017年